

主日礼拝

2022 年 10 月 09 日
午前 10 時 30 分

前奏 「みめぐみゆたけき主の手にひかれて」
(D.ウッド)

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「1 ヤコブよ、あなたを創造された主は
イスラエルよ、あなたを造られた主は
今、こう言われる。
恐れるな、わたしはあなたを贖う。
あなたはわたしのもの。」 (イザヤ書 43:1)

頌栄 26「グロリア」

グロリア グロリア グロリア ち ち と み 子 に
グロリア グロリア グロリア せ い なる 霊 に

交読詩編 100 : 1~5

司式者：全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。

会衆：喜び祝い、主に仕え

一同：喜び歌って御前に進み出よ。

司式者：知れ、主こそ神であると。

会衆：主はわたしたちを造られた。

一同：わたしたちは主のもの、その民
主に養われる羊の群れ。

司式者：感謝の歌をうたって主の門に進み

会衆：賛美の歌をうたって主の庭に入れ。

一同：感謝をささげ、御名をたたえよ。

司式者：主は恵み深く、慈しみはとこしえに

会衆：主の真実が代々に及び。

祈祷

献金 ご用意のある方は、神さまへの感謝の気持ちをもってお届けください。

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。アーメン。

聖書 創世記 4 章 1~16 節 旧約(新共同訳)P5~P6

1 さて、アダムは妻エバを知った。彼女は身ごもってカインを産み、「わたしは主によって男子を得た」と言った。 2 彼女はまたその弟アベルを産んだ。アベルは羊を飼う者となり、カインは土を耕す者となった。 3 時を経て、カインは土の実りを主のもとに献げ物として持って来た。 4 アベルは羊の群れの中から肥えた初子を持って来た。主はアベルとその献げ物に目を留められたが、5 カインとその献げ物には目を留められなかった。カインは激しく怒って顔を伏せた。 6 主はカインに言われた。

「どうして怒るのか。どうして顔を伏せるのか。7 もしお前が正しいのなら、顔を上げられるはずではないか。正しくないなら、罪は戸口で待ち伏せており、お前を求める。お前はそれを支配せねばならない。」

8 カインが弟アベルに言葉をかけ、二人が野原に着いたとき、カインは弟アベルを襲って殺した。

9 主はカインに言われた。

「お前の弟アベルは、どこにいるのか。」

カインは答えた。

「知りません。わたしは弟の番人でしょうか。」

10 主は言われた。

「何ということをしたのか。お前の弟の血が土の中からわたしに向かって叫んでいる。11 今、お前は呪われる者となった。お前が流した弟の血を、口を開けて飲み込んだ土よりもなお、呪われる。12 土を耕しても、土はもはやお前のために作物を産み出すことはない。お前は地上をさまよひ、さすらう者となる。」

13 カインは主に言った。

「わたしの罪は重すぎて負いきれません。14 今日、あなたがわたしをこの土地から追放なさり、わたしが御顔から隠されて、地上をさまよひ、さすらう者となってしまえば、わたしに出会う者はだれであれ、わたしを殺すでしょう。」

15 主はカインに言われた。

「いや、それゆえカインを殺す者は、だれであれ七倍の復讐を受けるであろう。」

主はカインに出会う者がだれも彼を撃つことのないように、カインにしるしを付けられた。16 カインは主の前を去り、エデンの東、ノド(さすらい)の地に住んだ。

賛美 390(1, 2, 4) 「主は教会の基となり」

The Church's one foundation
詞 : Samuel J. Stone, 1839-1900 曲 : Samuel S. Wesley, 1810-1876 AURELIA

① 主はきよかいたいのもといとなり、
 ② せいかいのたらしみはいあつめられ、
 ③ にくみあるたみそわれざりしな
 ④ 世にありたみもざりしな

みことばをもらてこれをきよめ、
 ひとつのはかざりひののしるか、
 とともにまじわり、かみをあおぎ、

われらを死よりときはなちて、
 ひとつのはかざりよみ、ともにかち、
 かみはわれらのをさけびをきき、
 とわのしょうりををまをせつちて、

つかうるたみとなしたまえり。
 ひとりのかみとのみしたまわん。
 なみだにかえうたをい
 イエスのきますをせつにのる。

- ① 主は教会の 基となり、
みことばをもて これをきよめ、
われらを死より ときはなちて、
仕うる民と なしたまえり。
- ② 世界の民は 集められて、
ひとつのからだ、ひとつの糧、
ひとつの望み、共にわかち、
ひとりの神の み民となる。
- ③ 憎みあらい われらを裂き、
人はあざけり ののしるとも、
神はわれらの 叫びをきき、
なみだにかえて 歌をたまわん。
- ④ 世にある民も 去りし民も
共にまじわり、神をあおぎ、
永遠の勝利を 待ちのぞみて、
イエスの来ますを せつに祈る。

説教 「神を信頼するとは」

賛美 467 「われらを導く」

Guide me, O Thou great Redeemer
詞 : William Williams, 1717-1791 曲 : John Hughes, 1873-1932 CWM RHONDDA

1 われら を み-ち-びく あが ない の 主よ、
 2 いずみ を ひ-ら-いて か わ き を いや し、
 3 ヨルダンの な-が-れを わた る わ れら の

ち から づ よ-い-手 で た び じ を -ま も り、
 ー ほ の お と く -も -と の は し ら を -た て て、
 死 の お そ れ -く -だ き み ち び く -か み よ。

そ な え て く だ さ い、 て ん の -か -て、
 ー ゆ か せ て く だ さ い、 世 の た -び -じ。
 ほ め う た う た お う こ え た -か -く、

い の ち -の -バ ン を。
 ー 主 よ、 わ -が -た て よ。
 や く そ -く -の 地 で。

- 1 われらを導く 贖いの主よ、
力強い手で 旅路を守り、
そなえてください、天の糧、
命のパンを。
- 2 泉を開いて 渴きを癒し、
炎と雲との 柱を立てて、
行かせてください、世の旅路。
主よ、わが盾よ。
- 3 ヨルダンの流れを 渡るわれらの
死の恐れ砕き 導く神よ。
ほめうた歌おう 声高く、
約束の地で。

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

アーメン アーメン アーメン

後奏 「われらを導く」(P.マンツ)

司式 向井 希夫牧師
 説教 三谷 高康院長・学長
 (広島女学院)
 奏楽 玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。
※賛美歌の最後には、基本的に「アーメン」を付けません。